



「よくなる！」新聞

2025年 3月

こんにちは。3月になりましたね。2月はとっても寒い日がつづいて、雪もちらほら、小さいながらもあられもパラパラと降っている日がありました。それでも少しずつ暖かくなることでしょう。今年は花粉も多く飛ぶらしいです。花粉でお困りの方も楽になりますので施術の際にはおっしゃってくださいね。(^ O ^)

最適のちから加減

普段の生活でもものを大きく変化させようとする、たいていは強い力が必要になります。布巾でテーブルをきれいにするとき、包丁で硬いかぼちゃを切るとき…。強くやればそれだけ変わってくれる。日常の感覚からいいかえれば、強く働き掛けないとたいしては変わってくれない。となります。

人の体に対してはどうでしょう？ひどくつらい人に、力いっぱい良くなってもらおうと頑張るとかえって悪化します。頑丈なスポーツ選手なら少しくらいボキってやっても平気かもしれません。普段、からだをあまり動かさない人に対してボキッとやったらそれこそ動けなくなる恐れもあります。

当院の施術は、終わってから良く聞かれることがあります。「たったそれくらいのちからでここまで変わったのですか？」「そっと触れられたくらいでここまで変わるのがとっても不思議だ。」というのです。

私は、どこを触れるにせよ、その日のその人の最適な触れ方を探しながら触れることをしています。陸上選手が記録を出すために走るように。演奏家がもっといい演奏ができるように楽器を弾くように。あるいは、作品を仕上げる職人さんのように。いちばん良くなるように最適な力加減をめざしてやっております。

ちから加減がうまく行くと？

最適なちからで触れることに成功するとどうなるか？その感覚を説明いたしますと、なぜか以前に感じた懐かしい心地よい感覚がわたしの脳裏によみがえってくるのです。よく過ごした河川敷での風景、稲刈りが終わった田んぼの夕方の時間、雨上がりの小川…。なぜかすがすがしい自然がよみがえってきます。そうすると、患者さんは整い、楽になった～と言ってくれるのです。なぜかは科学的に証明できないのですが…。

寒い日の釣り

先月の終わりの日曜日に明石の乗合船に予約してメバルとガシラ釣りに出かけました。寒いのは重々承知しておりましたが、船の先頭に座らせてもらいましたので、寒すぎて手がかじかんで涙がつねにあふれていました。年配のひとが多くて、やる気も釣りのうまさもレベルが高いです。毎日あったかい部屋で仕事をしていると、大海原のふきさらしの寒風が心底堪えます。家族分が食べられるだけのガシラが釣れたので、その日は船室に避難して帰港を待っていたのです。

消防車が集結

とある日の夜に急に一台の消防車がやってきました。あれよあれよという間に当院のまえだけでなく周辺にも何台も集まってきました。家の二階で燃えているのかな？まさか。と思ったのですが、消防隊員さんたちが重そうなボンベを背中に背負って駅の方に向かって走って行きました。どこに火の手が上がったのかわからないのですが、狭いエリアに6台の消防車が集まってきたのはただならぬ緊張感があります。そういえばこのエリアは準防火地域で住宅密集地です。くれぐれも火事には気を付けたいものです。火の用心ですね。

大切な方をご紹介します。心を込めて施術いたします。

職場の先輩が治ったので教えてもらいました。 Mさん談

主人の腰が良くなったので私も来ました。 Fさん談

大切なひとには心を込めて整体します。紹介された方初見料 2000 円引き

あいば院の駐車場は2台です。東へ 100Mと整体院の前に一台

兵庫県西宮市高松町 18-1 阪急西宮北口駅 東出口から徒歩 3 分

休院日 日曜日、祝日 ☎ 0798-66-0099

